

日米欧ビジネス・セミナー・レセプションにおける
武井外務大臣政務官御挨拶

2017年3月27日

本日は、たくさんの方々に日米欧ビジネス・セミナー・レセプションにお集まりいただき、ありがとうございます。

セミナーでは、米国からはリビー・ハドソン研究所上級副所長に、欧州からはベイヤー・ビジネスヨーロッパ事務局長にお越しいただき、また、日米欧の経済界や政府からも多くの方々の御参加・御協力を得て、有意義な議論がなされたと聴いております。

皆さん、日米欧の経済関係は非常に緊密ですが、日本には、米欧からの更なる投資が必要です。すなわち、2020年までに35兆円という目標のために、あと3年で約10兆円の投資が必要なのです。

これは極めてチャレンジングな目標です。けれども、本日のセミナーを通じて、日本の投資環境の整備に関する取組や投資先としての魅力について、十分にお分かりいただけた今、この目標達成は不可能ではないと思っています。

安倍政権は、引き続き最大限の努力を傾注して、日本への投資拡大に向けた、米欧との協力を推進していきます。

先月の日米首脳会談では、麻生副総理とペンス副大

統領の下で新たに「経済対話」を立ち上げることで一致しました。この対話を通じて、双方向の投資の拡大も含め、日米経済関係を更に深化・発展させ、アジア太平洋地域の力強い成長と繁栄の実現に向けて取り組んでまいります。

欧州とは、日EU双方の投資や貿易の促進の観点からも、日EU・EPAのできる限り早期の大枠合意に向けて、最大限努力してまいります。また、英国のEU離脱が日本企業や世界経済に悪影響を与えることのないよう、我が国政府としてもできる限りを尽くす所存です。

最後になりましたが、是非、この機会を活用していただき、外国企業の皆様には日本への更なる投資に、日本企業の皆様には米国や欧州における事業の開拓・拡大につなげていただければ幸いです。

(了)